

# 『ファッションは健康な人だけが楽しむものではない！術後ファッションをめぐって』

大阪ファッションクリエイション・ビジネス学科

溝上葉月

## 【要旨】

本論文執筆のきっかけは、自分自身の鎖骨骨折の経験や母の胃がん手術経験で得た悩みやストレスを元に、ファッションの力で軽減することはできないかを考えたことである。この悩みやストレスを抱えている人は、意外と多いのではないだろうか。ここから「術後ファッション」に興味を持つことになった。本論文の目的は、「デザイン性」と「機能性」のメリットとデメリットについて、インタビューをもとに分析を行った後、実際に販売されている術後ファッションにはどのような機能とデザインがあるのかを調査し、理想と思われる術後ファッションを提案することである。

第二章では、術後ファッションの代表とも呼ばれる乳がん患者用の下着について紹介する。有名ランジェリーブランドのグンゼやワコールをはじめ、実際に乳がん経験者の中村真由美が設立した乳がん患者専門のランジェリーブランド、アボワールを取り上げる。乳がんの療養中、もしくは手術後に普段使用しているブラジャーやノンワイヤーのブラジャーを使用した際の問題点について考える。これらの事例を通して、どのような下着がストレスなく、快適に着用することができるかを探る。

第三章では、骨折や手術を経験したことのある人達 22 名にファッションに関する質問を行い、術後ファッションについての当事者の声を取り上げる。インタビューから、オシャレな術後ファッションを求める声が多いことが明らかになった。

第四章では、新しい術後ファッションを知るために、義手や義足、ウィッグについて取り上げる。人工義肢デザイナーのソフィ・デ・オリヴェイラ・バラタ、ハイヒールプロジェクトを企画したモデルで美術家の片山真理人、全身脱毛症を患っているインフルエンサーのギユテを取り上げ、彼女たちに共通して私たちに伝えたいメッセージを明らかにする。

最終章では、以下の考察を踏まえ、オシャレな術後ファッションとはどのようなものなのかについて、具体的に提案する。

## 【目次】

### 第一章 序章

目的/問題の背景/先行研究のレビュー/本論文の視点/方法/本論文の構成

### 第二章 術後ファッションの概要

概要/乳がん患者用の下着について/乳がん患者専用ランジェリーブランド「avoir」

### 第三章 あなたにとって「オシャレとは？」

衣服を着る際に困ったこと/衣服の指定/系統の変化/露出について/あなたにとって術後ファッションの必要性/あなたにとってオシャレとは

### 第四章 新しい術後ファッションの流れ

ソフィー・デ・オリヴェイラ・バラタ/片山真理/ギュテ/固定概念を覆すファッション

### 第五章 結論

制作メモ/まとめと考察